

設計におけるBIM/CIM活用(施工計画)

<樋門・樋管の例>

- 活用内容: 当該工事で必要となる堤防開削、本堤築造及びそれに伴う仮締切の構造・撤去等の工事の順序と施工方法を検討し、必要な情報をBIM/CIMモデル化し、これを活用して受発注者間で最適な施工計画案を策定する。
- 活用方法: 施工計画では、計画の検討等に必要な情報をBIM/CIMモデルに付与し、施工計画を3次元により検討する。

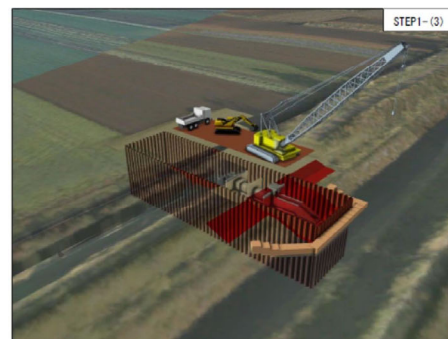
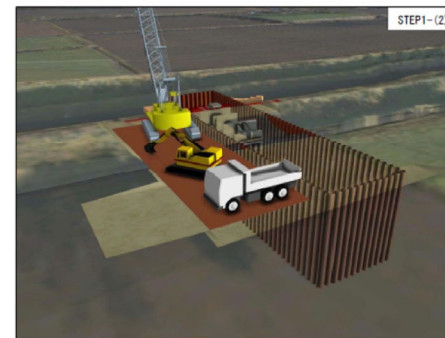
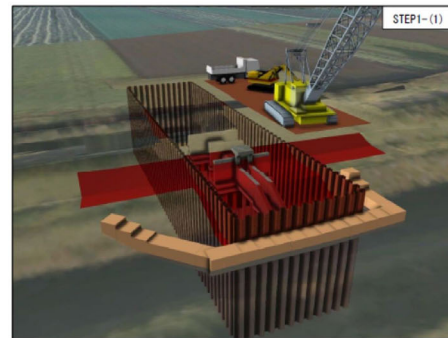
<橋梁の例>

- 活用内容: 上部工の架設計画について、現地の立地条件及び輸送・搬入条件等を基に、BIM/CIMモデルを活用して架設計画の確認を行う。
- 活用方法: 架設計画では、使用するヤード、支障物件、クレーンなどの作業範囲などをBIM/CIMモデルを活用し3次元的に確認することで、架設計画の検討を行う。

設計におけるBIM/CIM活用(施工計画)

＜樋門・樋管の例＞

- 活用事例：市川樋門詳細設計外業務
- 施工計画の主要なステップについて、施工機械及び仮設構造物を3次元モデル化し、作業ヤード及び施工機械の配置計画を反映した施工モデルを作成した。
- 作成したモデルに時間の属性情報として付与し、4D(3D+時間)シミュレーションモデルを作成し、施工計画の妥当性を受発注者間で速やかに確認することができた。



＜橋梁の例＞

- 活用事例：H30圏央道小貝川高架橋橋梁詳細設計(その2)業務
- 桁の輸送、桁の仮置き・地組立、クレーンの設置・作業スペース、周辺の支障物件等のBIM/CIMモデルを作成し、施工計画上の支障等を網羅的に確認できた。

